



# 再び人が集う場所へ 愛する地域の環境は、 私たちの手で守る!

無料化をきっかけに荒廃が進んでいた福山市のグリーンラインこと、県道251号線。そんな状況を立て直すため、地元有志によって結成されたのがNPO法人「グリーンラインを愛する会」です。今回は同法人の活動やこれまでの歩みについてお話を伺いました。

広島県 NPO法人 **グリーンラインを愛する会**

## 20年以上もの歳月をかけて復活を遂げたグリーンライン

「この道はね、私の青春の思い出の場だったんですよ」と語るのは、NPO法人「グリーンラインを愛する会」の理事長を務める丸山さん。福山市瀬戸町の洗谷から鞆町までを結ぶ有料道路、通称・グリーンラインが誕生したのは1974年のこと。当時はちょうど観光道路ブームで、眼下に景勝地・鞆の浦と瀬戸内海の多島美を望むこの道路は、たちまち人気のドライブコースとなったそうです。その頃20代だった丸山さんも愛車に仲間を乗せて、よくこのコースを走ったのだとか。ところがブームが去り、来訪者が減ったため、グリーンラインはわずか6年で無料化、一般道(県道251号線)に格下げされました。グリーンラインの荒廃はこの時から

始まり、倒木や松枯れ、ゴミの不法投棄、野犬の群れが棲みつくなど、多くの問題を抱えるように。かつての丸山さんの思い出の地は、地元民さえ寄り付かない忘れ去られた場所となってしまったのです。そんな状況を見兼ねた丸山さんは、同じように問題意識を抱える有志を募り、2000年に任意団体「グリーンラインを愛する会」を結成。2003年にはグリーンラインの環境整備と維持を目的とするNPO法人の認証を受けました。活動を始めた当初は、いくら清掃しても繰り返される不法投棄に心が折れそうになったという丸山さん。しかし、20年以上かけて地道に活動してきたおかげで、現在は休日を楽しむ数多くの

親子連れの姿がグリーンライン近辺で見かけられるようになりました。今後は同法人が手がける桜の植樹によって、「グリーンラインを県内有数の桜の名所にしたい」と語る丸山さん。そんな丸山さんの夢が実現するのも、そう遠くない未来に違いありません。



▲全国から寄せられた善意の寄付により植樹された桜。毎年、成長を楽しみに花見に来る人も。

## とある日の月例会では…

ボランティアも参加し、ふるさとの環境を守る活動を実際に体験!

桜舞う4月に行われた月例会では、会員以外の参加者も含む15名が集結。簡単なミーティングの後、担当場所に分かれて清掃活動を行いました。普段の活動でまかないきれない管理業務は、こういったボランティアの参加でカバーしています。この日のミッションは側溝に溜まった落ち葉の除去。集めた落ち葉は植樹した桜の肥料として活用します。2年前から活動に参加するKさんは「この季節の作業が一番気持ちいい!」と、自然の中で行うボランティア活動を楽しみにしている様子。理事長の丸山さんも「楽しいボランティア」をモットーとしており、作業が終わった後はバーベキューやお手製のカレーを振る舞ったりしているそう。この楽しむ姿勢こそが活動継続の秘訣なのかもしれません。



▲お待ちかねの昼食タイム!理事長特製のカレーが作業を終えたメンバーの労をねぎらう。  
◀この地が一人ひとりの特別な場所になることを願って寄付を募り、植えられた桜たち。各桜のプレートには植樹者のメッセージが添えてある。



▲「それっ!」と側溝に溜まった落ち葉を勢いよくすくい出す会員のみなさん。これを木の根元に撒けば腐葉土となり、美しく桜を咲かす栄養分。こうしたひと手間が愛する故郷の環境保全へとつながっていきます。

後山公園展望台からの絶景を眺めながら、これまでの活動を振り返る丸山さん。展望台からは岡山・四国・尾道・しまなみ海道方面までをぐるりと見渡せ、パノラマビューが楽しめます。



## その他にこんな活動もしています



**公共施設等のトイレ清掃**  
行政の委託を受け、グリーンライン付近の公園や神社などのトイレ清掃も行っています。「いつもキレイにしてくれてありがとう」という住民からの手紙を受け取った時は全会員が感激!何気ないひと言に大変励まされたとか。



**沿道の草刈り事業**  
夏場などは草木の成長が早く、行政が行う年1回の草刈りだけでは追いつかないため、沿道の草刈り事業を会のメンバーが手分けして定期的に行っています。行政の手が届かない分野をカバーするのもNPO法人の務め!

# よみがえれ、グリーンライン。

ゴミの不法投棄に野犬の群れ、倒木や暴走族による破損…と、一時はすっかり荒れ果てていたグリーンライン。ようやく以前のような平穏が戻ってきましたが、そこには丸山さんら、会員たちの人知れぬ努力がありました。

人の足が遠のいた途端に増え始めた不法投棄



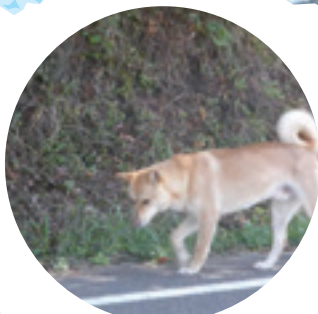
## 繰り返される違法行為に終止符を打つ最良の策とは？

当初は地道にゴミを撤去したり、掃除を行っていたものの、「そもそも違法行為が後を絶たないのは、人の目がないからだ」と気づいた会員たち。そこで人を集めるために植樹や近隣施設の整備を行い、観光資源としてのグリーンラインの魅力づくりにも力を注いでいきました。

暴走行為により破損したガードレール



放置されたままの倒木も…



心ない飼い主による犬猫の遺棄



## 豊かな自然と出会うアウトドアを楽しむ舞台に

2018年に実現した自動二輪車の通行規制解除は同法人の尽力によるもの。また、アウトドアを楽しむ人のためにキャンプ場の整備を行うと、かつて年間数組だった利用客は100組を超えるほどに増加。活動に携わった会員のみなさんは、グリーンラインの復活に確かな手応えと喜びを感じています。

今では豊かな自然を楽しむサイクリングやキャンプの舞台に



規制解除後はマナーを大切にするライダーたちが集うツーリングスポットに!



取材協力/NPO法人グリーンラインを愛する会

活動の様子など詳細はこちら

